

環境影響評価指針調査（大気環境に係る調査・予測手法等検討調査）（R2～4）

調査概要

農村地域においては、都市化・混住化の進展に伴い、農業水利施設の周辺に住宅等が立地することも珍しくなく、大気環境（可聴音・超低周波音）への影響は顕在化している。農業水利施設では、堰（頭首工）はもとより、水路には落差工等が存在し、通水時には可聴音のみならず超低周波音が発生する場合があります、「音」の影響への対応が求められている。

このため、最新の知見や当該現象が発生している施設での実態把握等を通じて、大気環境「音」への影響に対する事前予測・対策手法等の検討を行い、「音」に対する苦情防止に向けた調査・予測・対策等に係る参考図書（手引き）を作成し、施設供用後を想定した環境影響評価及び環境配慮計画の精度向上を図る。

調査内容

＜地方農政局段階＞・・・ケーススタディ

- ・ 施設構造、規模、流量別の音圧（点源・水平面）等の実態把握
- ・ 調査手法、予測手法、環境保全措置、評価手法に関する情報収集、整理・分析
- ・ 事案発生事例の事例収集

＜本省段階＞

- ・ 事前予測手法、対策手法、対策効果等の検討

■調査スケジュール

調査項目	1年目 (令和2年度)	2年目 (令和3年度)	3年目 (令和4年度)
対象施設概要調査、音圧(点源・水平面)調査 ＜本省・地方局＞	調整 概要調査・音圧測定	調整 概要調査・音圧測定	調整 概要調査・音圧測定
対策事例等把握調査 ＜本省・地方局＞	対策事例聞き取り・文献収集、整理・分析		
ケーススタディ ＜地方局＞	施設・関係者調整	概要調査・音圧測定 対策検討	対策提案
予測手法・対策手法・効果等 検討、参考図書作成 ＜本省＞	手法等検討・ 参考図書案作成	手法等検討・ 参考図書案作成	手法等検討・ 参考図書作成

調査成果の活用

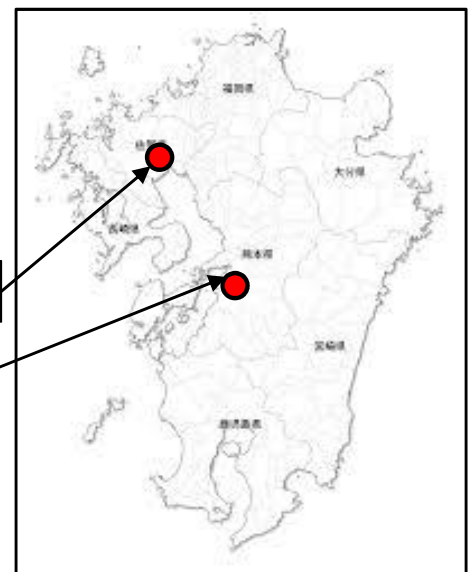
- ・ アセス地区等における円滑な事業推進を図るため、可聴音・超低周波音の影響未然防止に活用
- ・ 土地改良事業計画の環境配慮計画等策定における堰・落差工等の音対策を検討する際に活用

九州農政局における令和4年度調査実施地区

- ・ 調査地区：佐賀中部地区（佐賀県）
八代平野地区（熊本県）
- ・ 調査施設名：川上頭首工他（佐賀中部地区）
遙拝頭首工（八代平野地区）
- ・ 調査内容：調査施設の音の発生状況（音圧）調査

佐賀中部地区

八代平野地区



九州管内図